

<採用実績>

国内高校生向け／中学生向け奨学金

返済不要の給付型奨学金で、一般応募の中から採用者を決定します。

対象者 高校生・中学生

学力優秀で将来の夢を持ち、自分の可能性を信じて前向きに挑戦している者でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な者。

奨学生採用人数(2018～2019年度)

2018年度

高校生 42名

2019年度

高校生 104名
中学生 30名

沖縄
1名

九州
20名

四国
4名

中国
5名

中部
6名

近畿
39名

東北
10名

関東
36名

北海道
13名

地域別 奨学生採用人数(2019年度)

2018年から国内の高校生に向けた奨学金事業を開始し、2019年には大幅に採用人数を増やすことができました。また2019年からは、中学生にも支援を開始しています。これらの高校生・中学生に向けた奨学金事業は、日本全国へ広がっています。

<トピックス>

東日本大震災で被災した生徒を支援する奨学金事業

2011年の東日本大震災の発生後、当財団では翌2012年より被災した生徒向けの奨学金事業を開始。経済的な理由から就学が困難となった生徒を支援し、将来社会に出て必要となる知識を諦めずに身につけてもらいたいとの思いから、高校に進学する予定の中学3年生を対象に返済不要の給付型奨学金を実施しました。この支援活動は、4年間で延べ2,735名に達しています。

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
採用人数(名)	406	915	907	507
支給金額(万円)	9,807	33,594	27,829.5	18,201

■支給期間

高校3年間

■募集対象地域

東日本大震災の被災地域3県
(岩手県・宮城県・福島県)

■募集対象者

高校進学予定の中学3年生

- 東日本大震災発生時、岩手県・宮城県・福島県のいずれかの中学校に中学3年生として在籍していた生徒
- 東日本大震災発生時に保護者が岩手県・宮城県・福島県のいずれかで被災した生徒
- 東日本大震災の影響により、経済的援助を必要とする生徒



<似鳥国際奨学財団紹介>

似鳥国際奨学財団は、2020年に設立15周年を迎えます。「日本の暮らしを豊かにする」というニトリホールディングスが描くロマンの実現に大きな力を貸して下さったアジア諸国への恩返しとして2005年3月に設立し、以来、給付型の奨学金事業を通して世界各国の友好親善と人財育成に寄与してまいりました。海外からの留学生への支援をはじめ、日本国内では2016年より大学生、2018年より高校生、2019年より中学生への支援を開始し、海外においても2014年よりベトナム・台湾、2015年よりアメリカ、そして2017年より中国で奨学金事業を行っています。年間40名の支援からスタートした財団が、今では42の国と地域、延べ5,850名の学生を支援するまでに成長でき、大変うれしく思います。我々の活動に多大なるご支援・ご理解を賜り、深く御礼申し上げます。

奨学生には、学生時代に全身を使って学び、たくさん失敗をして、将来、人のため・世のために役立つ仕事をしてほしいと伝えてきました。ロマンとビジョンがあれば、どんな困難にもひるむことなく、高い目標に挑み続けることができるはずです。そして、学生時代に得た仲間とは、卒団後も国や地域を越え、いつでも、どこにいても助け合える存在であってほしいと思います。そのつながりは、いつか国と国をつなぐ架け橋となるに違いありません。

2020年も皆様のお声を受け止めながら、財団として一層確かな歩みを進めていく決意を述べて、ご挨拶とさせていただきます。今後とも変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人 似鳥国際奨学財団 代表理事
似鳥 昭雄

<イベント>

2019年度 中学生・高校生奨学金授与式 兼 交流会



<奨学生の声(高校生)>

財団から奨学金を受給して良かったことは、勉強に集中できるようになっただけでなく、自分で物事を考えて、伝える力を付けられていることです。毎月のレポートを通して自分の将来の夢や現在の改善点を考え、自分の言葉でまとめ伝える訓練ができています。学ぶ力を伸ばし、大学では薬学や予防医学、免疫学などを勉強したいです。なぜなら、将来は世界中の人々の健康寿命を延ばしたいと考えているからです。日本人は健康寿命と平均寿命の差が約10年もあります。これでは、医療や介護費が増えたり、働ける人の数が減ったりして、経済が衰退するなどのさまざまな問題が起こります。また、健康を損なう主な原因は発展途上国と先進国で異なっていたり、時代や環境の変化によっても変わったりします。そのような多面的な原因にアプローチしたいです。



日程 2019年12月22日

場所 ニトリ東京本部

参加者 232名(奨学生(中学生27名、高校生84名、大学生/OB・OG18名)、保護者91名、財団役員7名、(株)ニトリホールディングス役員5名)